

# JPALS 活用術 メリット等の経験談

JAPAN PHARMACEUTICAL ASSOCIATION LIFELONG LEARNING SUPPORT SYSTEM

## 「プレチェック」の活用

JPALSの画面を開くと右側バナーに上部から「プレチェック」「計画をたてる」「記録する」の順に並んでおり、それは学習の過程と重なります。プレチェックは1から5までの大項目に383の領域が設定されています。それぞれは薬剤師の基本的な職能に必要な項目であり、定期的に学習する必要があります。

プレチェックでは学習状況とCLレベルが表示され、ホーム画面の「レーダーチャート」で学習した領域が(未学習の領域も)一目でわかる親切的な構成になっているのがJPALSです。特定の領域に偏らない、研修課題に沿った生涯学習は薬剤師認定制度認証機構が認証する生涯研修プロバイダーにも必要とされる要件になっています。

多くの場合、取り扱う医薬品、疾患は特定の領域に偏りがちであり、広く学ぶことは苦痛なことです。効果の高い優れた医薬品が多く使われるようになり、薬物療法のガイドラインも頻繁に更新されています。例えばパーキンソン病ではレボドパを初期から使い、ドパミンアゴニストは2次治療で使うのが20年前は標準的でしたが、現在ではドパミンアゴニストを初期治療から使用するのが標準的になりました。薬物治療の概念から大きく変わったものもあり、日々、知識を更新していく必要があります。

薬局に求められる機能の1つに「地域に密着した健康情報の拠点」があります。患者さんの知りたい情報には、処方された薬だけでなく、健康全般のことや、家族の薬物療法に及ぶことは容易に想像できます。地域の健康拠点として、広く医療情報を学習しておくことが患者さんからの信頼を得る不可欠な準備になります。JPALSのプレチェックを活用して、あの薬局の、あの先生に聞きたい。と言われるような薬剤師を会員全体で目指しましょう。

The screenshot displays the JPALS user interface. At the top, it says 'JPALS 日本薬剤師会 生涯学習支援システム'. Below this, there's a 'お知らせ' (Notice) section with several news items dated from 2014 to 2015. The main part of the screen shows 'あなたのプロフェッショナルスタンダード ヘルプ' (Your Professional Standards Help) with a radar chart comparing '自分' (self) and '全国平均' (national average) across five categories: ヒューマニズム (Humanism), 医薬品の適正使用 (Proper use of medicines), 地域住民の健康増進 (Improvement of local residents' health), リスクマネジメント (Risk management), and 法律制度の遵守 (Compliance with laws and regulations). A callout box says '一目で全体像がわかる' (You can see the overall picture at a glance). Another callout points to a button: 'ここをクリック。領域ごとに表示される。' (Click here. It is displayed by domain). On the right, there's a 'はじめようJPALS' (Let's start JPALS) section with buttons for 'プレチェックする 実施済み' (Check status, completed) and '計画をたてる をみる' (View plan).